

新しい2輪車時代を築く  
'70 YAMAHA

YAMAHA NEWS '70躍進ヤマハ特別号

## ごあいさつ

期待されるスポーツ・レジャー産業のにな  
い手として、'70ヤマハは、陸に海に、大きく  
飛躍しようとしています。

とりわけ、主要製品であるオートバイにつ  
いては、個性的で魅力ある製品の開発と並行  
して、ヤマハ運転免許教室、トレール教室を  
はじめとする一連の積極的な活動によって、  
オートバイの新しい需要、新しいスポーツの  
開拓に努めてきました。

1970年も“新しい二輪車時代を築く先駆者”  
として、オートバイ業界をリード。販売店の  
みなさまと手をたずさえて、繁栄のいしずえ  
を築くための画期的なプランのかずかずを  
実現してまいります。

'70躍進ヤマハにご期待ください。

# 大型レジャー産業に 飛躍するヤマハ



いま、スポーツ・レジャー産業が、世界で脚光を浴びています。なかでもオートバイは、もっとも期待される屋外スポーツの花形としてクローズ・アップされてきました。

オートバイ、ボート、船外機、スノーモビル……。陸に海に、急成長をつづけるスポーツ・レジャー産業の最先端を行くメーカーとして、'70ヤマハは飛躍します。

# 脚光を浴びる スポーツ・レジャー

アメリカ内務省の発表によると、アメリカ人のスポーツ参加は年間、延べ70億回におよび、テニスのラケットから自家用飛行機にわたるスポーツ・レジャー産業の売上げは年間830億ドル、実に29兆8,800億円に達し、さらに大型化や急成長をとげるものとされています。

また、今後の傾向として、とくに屋外スポーツの人口が急速に増加することを特別に指摘しています。

そして、屋外スポーツの代表的なレジャー用品として急速な伸展をみせているのがオートバイ、ボート、キャンピングカー、スノー

モビルです。これらスポーツ・レジャー用品の売上げは、いずれもこれまでの最高を記録して、注目を浴びています。

これまでも、日本の消費傾向は、とくにアメリカ的な特徴を敏感に反映してきましたがスポーツ・レジャーについても、急激な盛り上がりが見られます。

同時に、これら期待されるスポーツ・レジャーのメーカーとして、ヤマハは内外の注目を集めています。

急速に、そして大きく成長するスポーツ・レジャー産業の中核にヤマハがあります。



ヤマハスポーツ六五〇X S Iの登場で、本格的スポーツ時代の幕が切って落された。

# オートバイこそ 屋外スポーツの花形

もっともポピュラーなスポーツ・レジャー用品として、あらゆる階層から大きな支持を受けているのがオートバイです。

モータースポーツの巾は大きく広がりました。トレール走行、スクランブラー走行など一般道路上だけでは味わえなかったスポーツのだいご味が満喫できます。

スポーツ・レジャー産業の最有力種目として、明るい将来が期待されています。

オートバイは、屋外スポーツの代表的なレジャー用品として急成長を遂げている。



オート・キャンピング、トレール・ツーリング……と、オートバイによるレジャーの内容もバラエティーに富んできた。



# マイ・ボート時代に前進

明日のスポーツ・レジャーは海や河、そして湖へと大きく広がってゆきます。アメリカにおけるボートの保有台数はすでに800万台。日本でも、ファミリー・ボート時代の時代が始まっています。海の神秘をさぐるクルージング、青いハイウェーを思い切りとばすランナバウト、海の幸を求めるフィッシングやトロリング、親しい仲間たちとの水上キャンプ、スイミングやハンティング、水上スキー、スキンドайビングと巾広い水のスポーツをボートで楽しむ人びとがふえています。

日本のボート生産量の70%がヤマハ。輸出産業としても有望視されるヤマハボートは、大巾な増産体制をととのえています。



◀手こぎのローボートから大型クルーザーまで、魅力のあふれるヤマハ新艇。

## 水辺のレジャーを身近に変えたヤマハミニ

水辺のスポーツ・レジャーを身近かなものに変えたヤマハ船外機P-45“ヤマハ・ミニ”

軽くて、どこへでも持ち運びができ、しかも運転が簡単。人気を呼んでいます。



水辺のピクニックのお供に  
ヤマハ船外機“ヤマハミニ”



## 好調！ヤマハスノーモビル

雪国の暮らしを変えたヤマハスノーモビル

積雪地のスポーツ・レジャー用品として、アメリカで大きなブームを呼んでいるのはスノーモビルです。70年は35万台—金額にして3億8,000万ドル（1,368億円）のスノーモビルが売られるとアメリカ内務省は観測しています。

ヤマハスノーモビルは、国内では連絡や荷物の運搬、山林や電力設備等の巡視、急患の救出など、主として実用に活躍し、雪国の暮らしを変えましたが、海外の需要もきわめて旺盛です。

今年は、より性能アップされた新型が登場。人気をさらに盛り上げています。



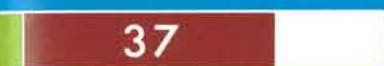
# 代の先駆者

“赤トンボ”の愛称でしたしまった第一号車の発売以来、ヤマハはスポーツ車の開発にあたって、革命的な技術と、時代に先行したグッド・デザインをもたらしてきました。すぐれた製品と独自の政策をつうじて、つねにスポーツ時代をリードしてきたのです。

オートバイによる新しいスポーツ“トレール・ライディング”の開拓をはじめ、行動的な人びとをスポーツ・レジャーへ引きつけるための努力を積み重ねてきました。

その成果もあって、いまや本格的スポーツ時代が到来しました。ヤマハとともにスポーツ時代をリードする好機です。

## きさ



91-125 c.c. クラスが必要  
126-250 c.c. クラスが必要  
251 c.c. 以上のクラスが必要

## 二輪使用者の年齢構成



16-19才 20-29才 30-39才 40才以上

## ヤング・マンの 心をとらえる スポーツ車

日本自動車工業会がまとめた二輪車需要動向調査の結果からも、オートバイのスポーツ化への動きがはっきりと読みとれます

これは車種別にみた二輪ユーザーの年齢構成ですが、スクランブラータイプすなわちトレール車を含むスポーツ車は、二輪車需要の過半数を占める10代、20代の若者たちで占められています。



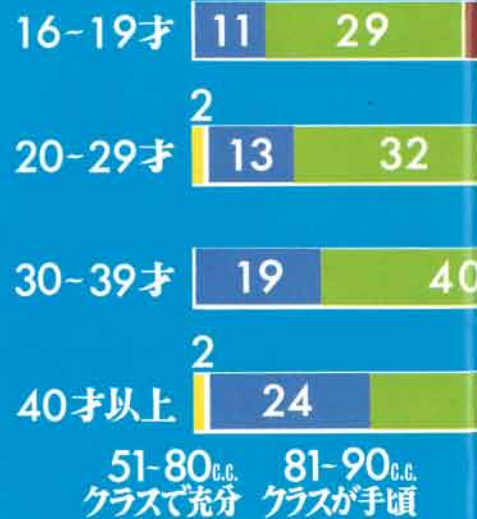
# スポーツ時



## スタンダードタイプ使用者の 年齢別スポーツ化への態度



## 年齢別大



## スポーツ車に つよい あこがれ

この表は、スタンダード車を使用しているお客さまを対象に、スポーツ車への要求度を年齢別にまとめたものです。

注目すべきことは、スタンダード車を使用している大半のお客さまが、スポーツ車に対して、つよいあこがれを持ち、デザイン、性能など、すべての面で、高度なスポーツ化を要求していることです。

## つぎつぎと 大型車へ 乗りかえ

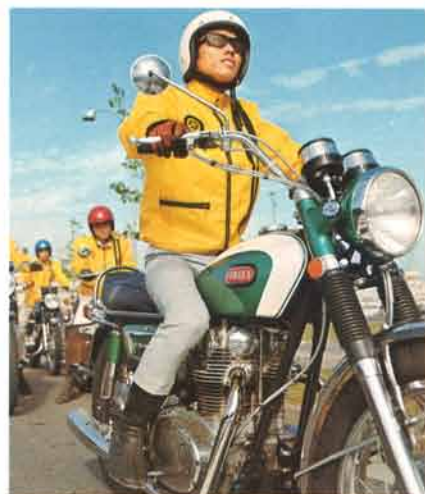
また、排気量別にみた希望車種は、若い人ほど上級車種、すなわち大型車を要求する傾向が、つよくスポーツ・レジャー用には、よりすぐれた性能をもつ製品が好まれていることがわかります。

スポーツ車は若いお客さまを中心に伸びています。そのことは、つぎつぎと新しい需要層が育っていることを意味しています。

# トレールの時代



スポーツ、トレール車の需要が急増しています。1970年は、スポーツ需要がさらに本格化し、大型化する年です。



## 年齢別次期購入希望オートバイ



## つぎに買いたい車はスポーツ

さらに分析をすすめて、つぎに購入するオートバイはどんなタイプかを年齢別に調査したのが、この表です。

10代、20代の若い世代では、スポーツ車が圧倒的多数を占めているのは当然のこととしても、30代でもなおかつ、10人中4.9人までがスポーツ車をあげていることは注目されます。

## ヤマハが築いた スポーツ時代

### 赤トンボから650 XS1まで

昭和34年に発売されたヤマハ250YDS 1は、わが国初の本格的スポーツ車。スポーツの歴史は、このときから始まったのです。それに先立って、昭和30年にデビューしたヤマハ第1号車・YA 1は、富士登山レース、浅間耐久レースに優勝。スポーツ車の萌芽を思わせたものでした。

#### ◇海外レースにも初入賞

国産車で海外レースにはじめて出場したのもヤマハです。昭和33年、アメリカのカタリナ・グランプリレースでヤマハ250が6位に入賞。内外の話題となりました。世界選手権ロードレースでも、出場3年目の昭和39年に250cc級世界チャンピオンを獲得。43年の250cc、125cc 2クラス制覇に至るまで、数かすのチャンピオン・トロフィを手に入れました。

#### ◇レースで鍛えたヤマハの技術

レースで鍛えたヤマハの技術を、ヤマハは着実に市販車の上に生かしてきました。高性能ロータリーバルブ、技術革新オートループ軽量で堅ろうなフレーム、卓越した安定性と操縦性、定評あるサスペンション、耐久力のあるエンジン、いずれも苛酷なレース体験より生まれた、ヤマハ独自の技術です。

#### ◇新しいスポーツを創造するヤマハ

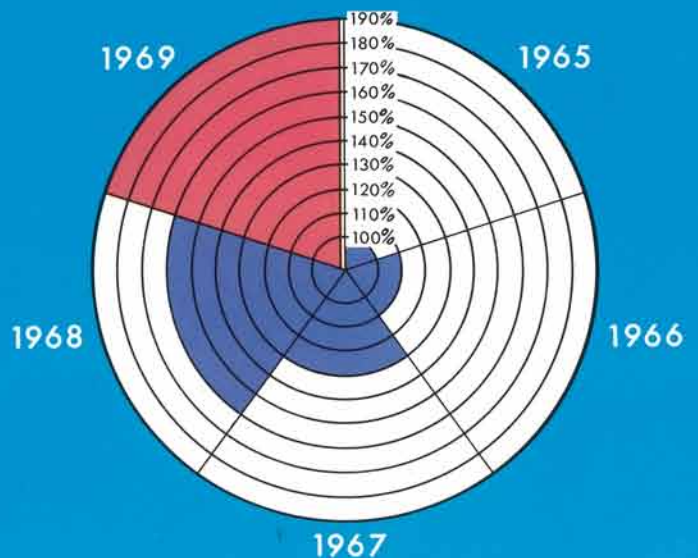
ヤマハトレール・シリーズの登場は、オートバイスポーツのあり方を一変させました。トレール・ライディングの楽しさは燎原の火のように、全世界にひろがったのです。加えて、モトクロス界を席卷するヤマハトレール250DT 1、125AT 1は、市販のロードレーサーでは世界一早いといわれる350TR-2、250TD-2とともに、アマチュア・レース界の双壁を成しています。

#### ◇スポーツ車を代表するグッドデザイン

スポーツ車の持つ機能をスタイルの上に表現するデザイン——オートバイに与えられた“グッドデザイン賞”の過半数をヤマハが占めています。品質、性能、デザインが見事にマッチしてこそ、スポーツ車特有の個性が浮きほりにされるのです。



## 251c.c.以上の保有台数推移



## 目立つ大排気量車の伸び

一時は低調だった青ワクナンバーの自動二輪車も、急ピッチで需要が倍増に向っています。これにヤマハスポーツ650XS1、ヤマハトレール360RT1が加われば、一層の躍進が期待されるでしょう。

日本の市場も、いよいよ本格的なスポーツ時代を迎えたのです。

# スポーツ人口を開発する '70 YAMAHAの新企画



積極的にオートバイの需要づくりに取り組むヤマハの姿勢は、つねに前向きです。卒先して、新しい需要をつくり出す意欲に燃えています。

各地で好評を呼び、社会的にも非常に大きな意義をもつ行事として認められているヤマハ交通安全教室に、あらたに「スポーツ教室」「二輪免許教室」が加わることになりました。スポーツ人口を開発する'70ヤマハの新企画の一環です。

# スポーツ教室を新設します

好評の「トレール教室」にひきつづき「スポーツ教室」を開設します。

「スポーツ教室」は、安全で楽しいオートバイ・スポーツを若い人びとの間にひろめ、あなたのお店のスポーツ需要をふやします。スポーツ教室をつうじて、お客さまの組織化が図れます。

行動的なヤングマンたちを集めてのツーリング教室、ラリー教室、そしてトレール・ラン、トライアル、ジム・カーナなど、ヤマハ・スポーツ教室の開催は、各地で大きな反響をまき起こすことでしょう。

また、スポーツ教室では、チューニングパーツを使ったメカニック教室も開かれます。乗る楽しみにいじる楽しみを加えたスポーツ教室は、若いお客さまに、お店のイメージをつよく印象づけることでしょう。



# 二輪免許教室を開設します

新規需要層の開拓に大きな成果をあげた「原付免許教室」につづいて、いよいよ「二輪免許教室」が開設されます。

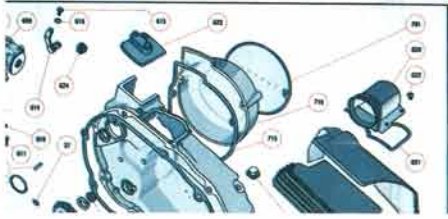
運転免許の所有者をふやすことは、お客さまの拡大に直接つながります。すでに全国各地で活発に開かれている原付免許教室は、二輪車需要の底辺をつくりますが、二輪運転免許教室は、さらに大型車種への乗りかえ需要を促進し、同時に新規のお客さまもたくさんふやします。とくにスポーツ需要の増大に大きな効果が期待されます。

二輪免許教室では、ヤマハが認定したインストラクターが、豊富な教材を使って、受験に必要な法令や構造をわかりやすく解説します。また、運転技能試験に合格する正しい運転技術の指導も行ないます。

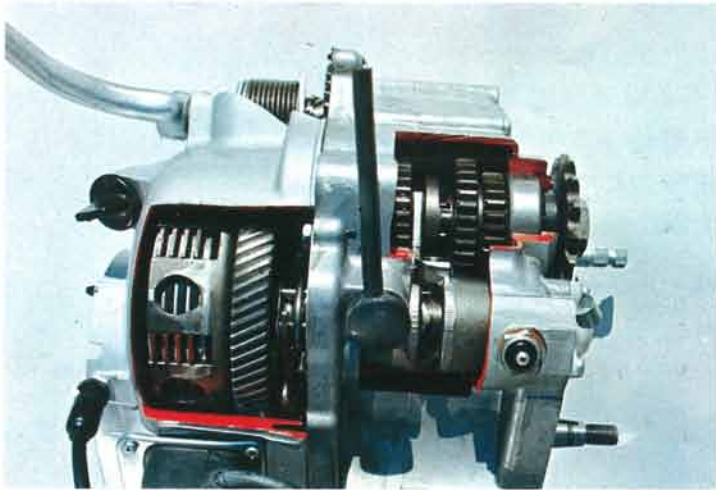


二輪免許教室で大型車への乗りかえを！

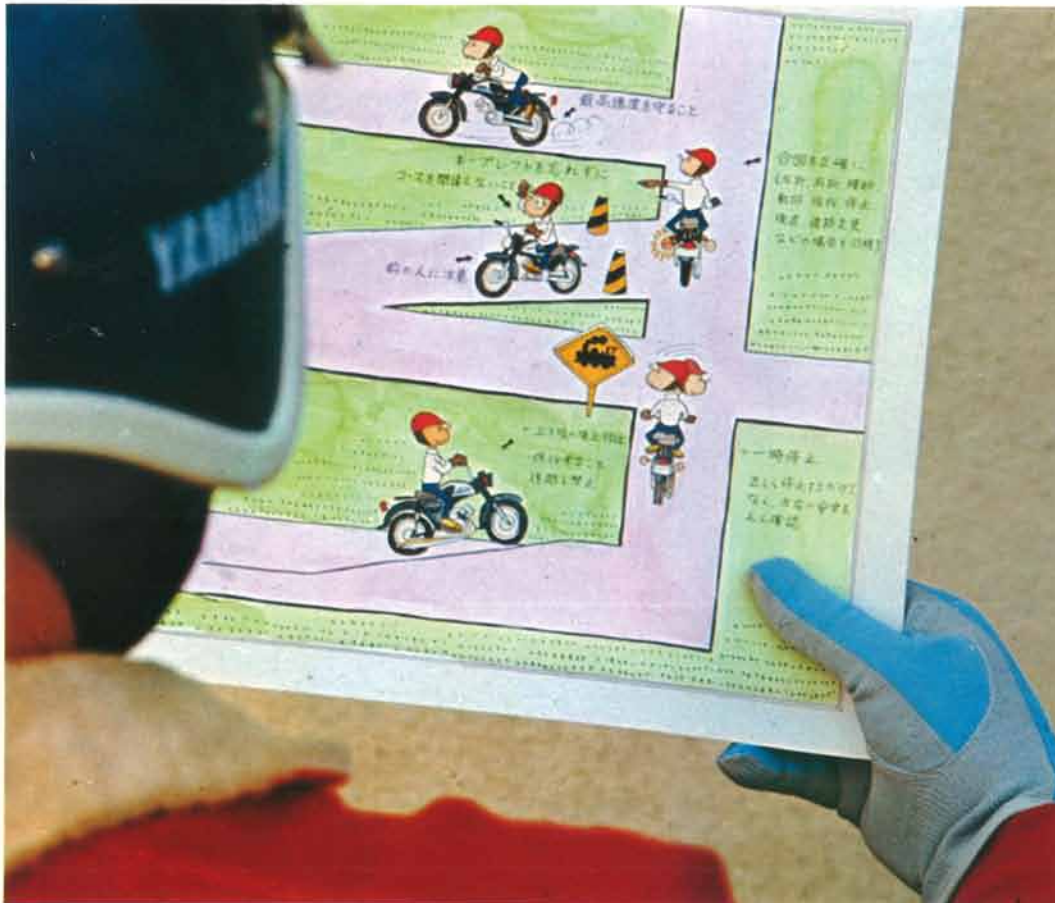
## エンジン展開図



二輪車の構造もやさしく解説。



豊富な教材を使って、楽しく学べる二輪免許教室。



実地試験のコツを……  
トラの巻もあります。

# を築くあなたにヤ

増売に直結する画期的なプランをつぎつぎと実現

お店を印象づける効果的な新車展示会を積極的に実施



## 積極的な販売促進

販売店のみなさまの売上げ伸長の手助けをするため、ヤマハはつぎつぎと画期的な増売プランを打出していきます。新車展示会開催のお手つだい、各種の催しをつうじての需要の盛り上げ、あるいは魅力のあるカスタムパーツをとりそろえて、スポーツユーザーの増大を図るなど、意欲的な活動を展開します。



マスコミも動員した強力なPR作戦を展開

豊富なカスタムパーツで、スポーツ・ユーザーを魅了



# 新しい二輪車時代



— お店をショールームに変える内装用品を豊富に準備

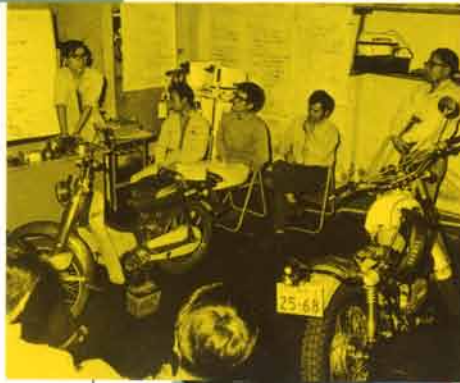
— お店の合理化に役立つ経営講習会 経営相談の実施

— お店のサービス力を高める技術講習会の開催

— お客さまを引きつける店づくりを 強力にバックアップ

## 経営の発展に協力

正しい経営姿勢と経営に関する知識を持つことは発展するお店の条件です。ヤマハでは、ひきつづき経営講習会を開催して、お店の合理化の手助けをします。また、サービス力の向上を図る技術講習会も開催します。店舗については、各種の内装外装用品を準備して、お客さまを引きつけるお店づくりに協力します。



# 手伝いします



## 新商品の研究・開発

「スポーツはヤマハ」の名声をかち得たヤマハスポーツ・シリーズ。オートバイ・スポーツの新しい道をきり開いたヤマハトール・シリーズ。そして'70の潜在需要を掘り起こすヤマハミニ。ヤマハは、二輪車需要の方向を先導する魅力ある商品づくりに絶えず努力しています。

新規ユーザーの獲得に役立つ可愛い車  
“ヤマハミニ”



ヤマハの技術と個性が光るスポーツ・シリーズが勢ぞろい



荒野にわたちの跡をしるすトール・シリーズが完成

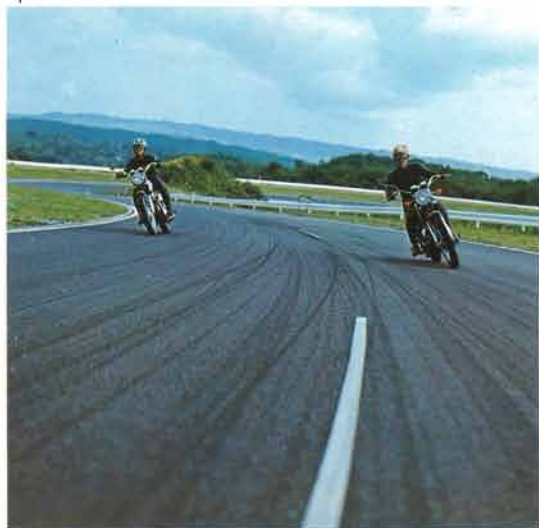


重量級スポーツの正統派“ヤマハスポーツ650XS1

# ヤマハが積極的に

オートバイの楽しさをひろげるヤマハスポーツ教室を新設

基本的技術の指導で安全活動に貢献する交通安全教室



## 交通安全教室の拡大

好評のトレール教室、原付免許教室に引きつづきヤマハ交通安全教室の一環として、'70はスポーツ教室、二輪免許教室を開催します。ヤマハ交通安全教室では、お客さまが安全運転の技術を身につけてオートバイのある生活を豊かにひろげていかれる、社会性のある企画をつぎつぎと打出していきます。



スポーツ人口をふやすヤマハ二輪免許教室を開設

各種の行事をつうじて、スポーツユーザーの組織づくり



### ヤマハスポーツ180CS2-E

■最高出力21PS/7,500r.p.m. ■0→400m16.3sec  
■最高速度140km/h■最大トルク2.05kg-m/7,000r.p.m.



### ヤマハスポーツ125AS2

■最高出力15PS/8,500r.p.m. ■0→400m17.5sec  
■最高速度130km/h■最大トルク1.3kg-m/8,000r.p.m.



### ヤマハスポーツ90HS1

■最高出力10.5PS/8,000r.p.m. ■0→400m18.9sec  
■最高速度110km/h■最大トルク0.96kg-m/7,500r.p.m.



### ヤマハスポーツ50FS1

■最高出力6.0PS/9,000r.p.m. ■0→200m13.15sec  
■最高速度95km/h■最大トルク0.5kg-m/8,000r.p.m.



### ヤマハトレール90HT1

■登坂力25° ■最大トルク0.9kg-m/6,500r.p.m.  
■最高出力8.5PS/7,000r.p.m.



### ヤマハトレール50F5-C

■登坂力18° ■最大トルク0.45kg-m/7,500r.p.m.  
■最高速度80km/h■最高出力5PS/8,500r.p.m.



### ヤマハスポーツ350R3

■最高出力36PS/7,000r.p.m. ■0→400m 13.8sec  
■最高速度173km/h ■最大トルク3.8kg-m/6,000r.p.m.



### ヤマハスポーツ250DS6

■最高出力30PS/7,500r.p.m. ■0→400m 15.0sec  
■最高速度160km/h ■最大トルク2.92kg-m/7,000r.p.m.

# やる!

50ccから650ccまで

## スポーツ・シリーズが充実!

50ccから360ccまで

## トレール・シリーズが完成!



### ヤマハトレール250DT1

■登坂力35° ■最大トルク2.32kg-m/5,000r.p.m.  
■最高速度120km/h ■最高出力18.5PS/6,000r.p.m.



### ヤマハトレール125AT1

■登坂力30° ■最大トルク1.17kg-m/6,000r.p.m.  
■最高速度105km/h ■最高出力11.5PS/7,500r.p.m.

快走ノヤマハ・ロクハン



## ヤマハスポーツ650XS1

■最高出力53PS/7,000r. p. m. ■0→400 m |3sec  
■最高速度185km/h以上 ■最大トルク5.5kg-m/6,000r.p.m.

# ヤマハは車で勝負す

スポーツ時代をリードするヤマハトレール



## ヤマハトレール360RT1

昭和45年4月発売予定



— 二輪車需要の底辺をひろげる —

# “ヤマハ・ミニ” 近日登場!

だれでも気軽に乗れる可愛い車、“ヤマハミニ”。  
第16回東京モーターショーにはじめてデビューして、話題を呼びました。

軽快なデザインと乗りやすさで、オートバイに乗ったことのない人からも親しみを持たれるペダル付きの50ccバイクです。

あなたのお店に女性のお客さまをふやします。

# 生産能力をすすむ



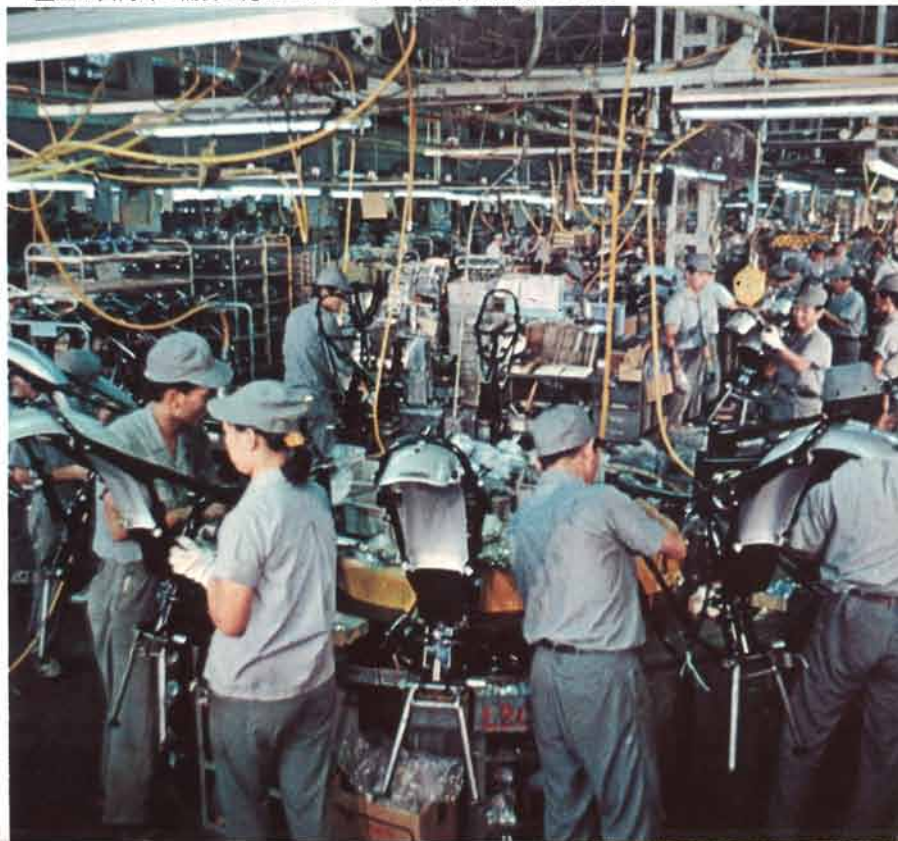
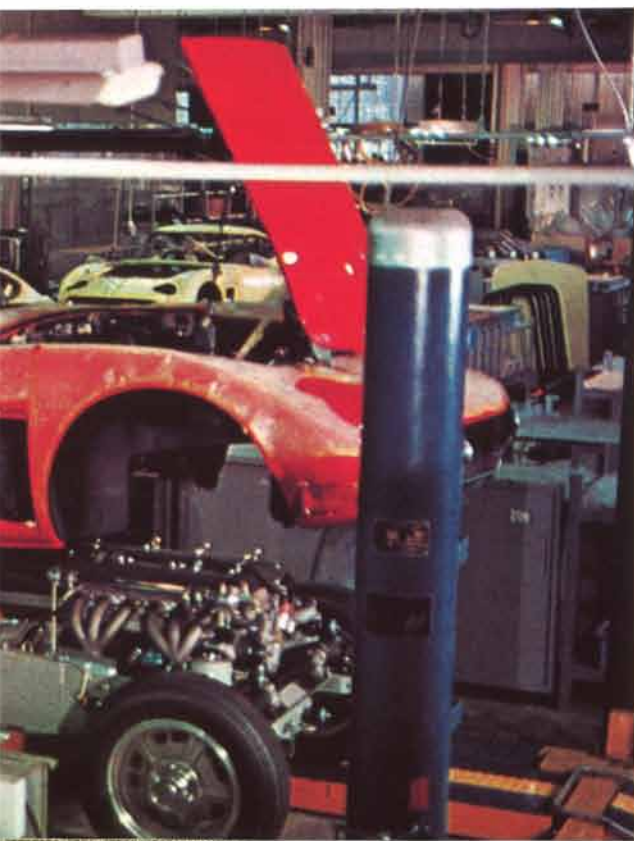
高品質を生むヤマハに対する全世界の信頼と、スポーツ・レジャーの興隆に支えられて、ヤマハ製品の需要は国内外で大きな盛り上がりを見せています。

ヤマハでは、将来に対する確固たる見通しのもとに、各種製品の大巾な増産体制をととのえつつあります。オートバイの生産能力を飛躍的に高める磐田工場の建設、水上のレジャーの人気に応える九州ポート工場の新設をはじめ、すべての部門にわたって、設備の増強をすすめています。

'70年もまた、ヤマハが大きく躍進する年です。

▲抗打ちの音も高らかに、磐田新工場の建設はすすむ

▼盛上る国内外の需要に応じて、オートバイの増産体制はすすむ

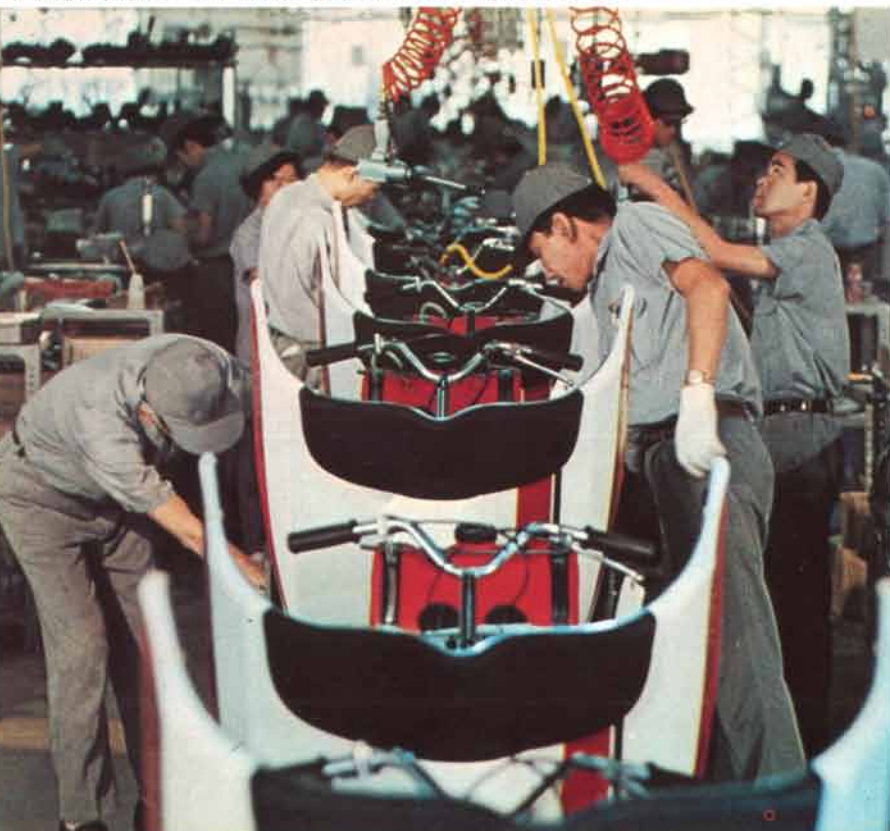




# □ 意欲的な増産



▼発売2年目のシーズンを迎えて活気づくスノーモビル組立ライン



▼ヤマハの4サイクル技術が光るトヨタ2000GT





▲昌和製作所の新工場フル稼働！

▼昌和製作所の重量車組立ライン



# 意欲的な増産態勢すすむ



▼高品質ヤマハの一翼を荷なう北川自動車工業のプレス工場



▼新鋭ヤマハ汎用エンジンの生産も急ピッチ



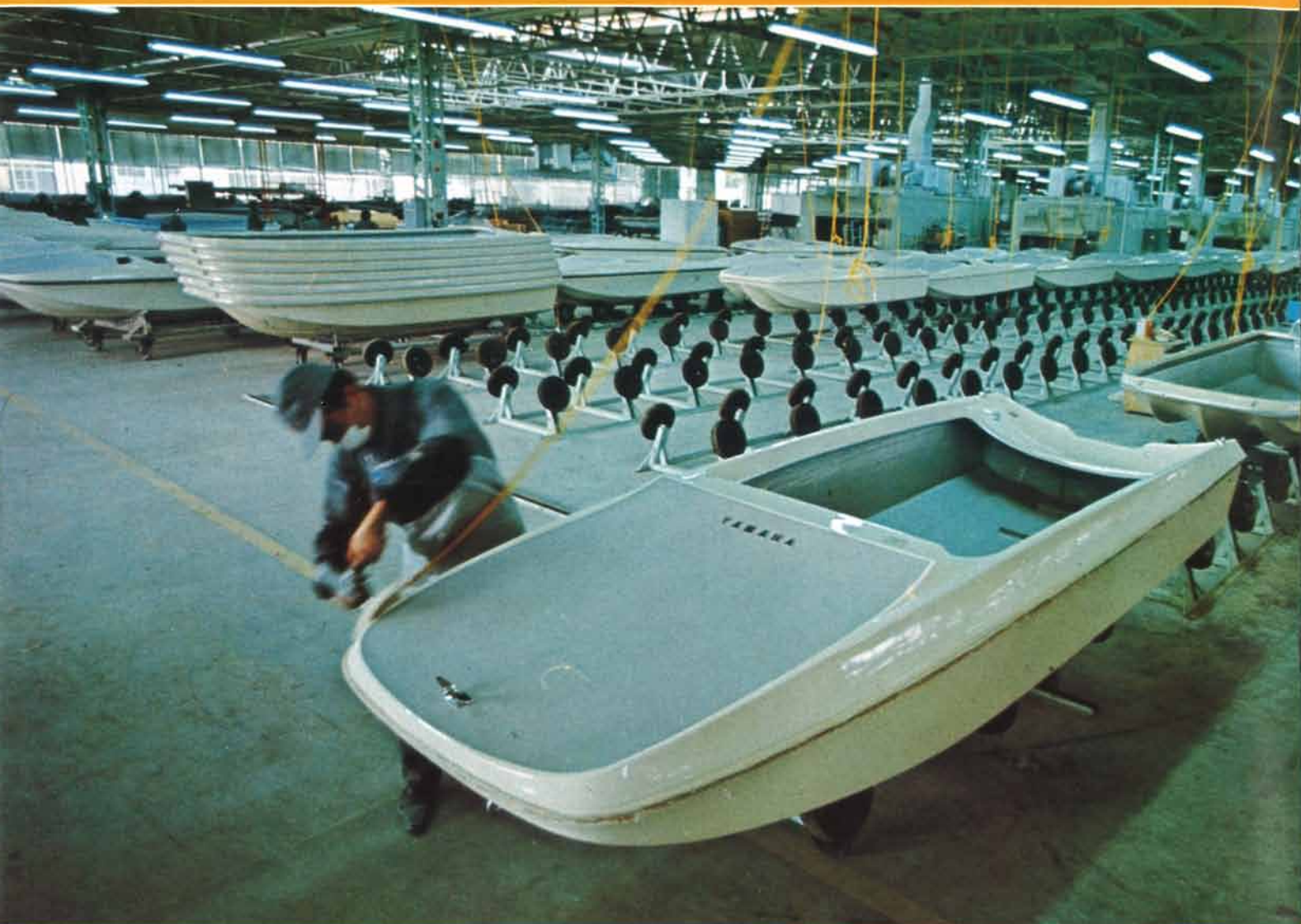
# 意欲的な増産態勢すすむ



▲ファミリー・ボートイングの'70年を迎えて新居・第3ボート工場の増築を急ぐ

▼躍進への意欲に燃えて、三信工業のダイカスト工場





▼漁業にレジャーに活躍する船外機。三信工業の組立ラインも活気がみなぎる

▲国内市場占拠率70%。東洋一の新居ポート工場。



# を求めている

〔バンクーバー〕カナダ選手権レースで125からオープン級まで出場全種目に優勝



〔デイトナ〕アメリカ最大のレース、デイトナGPではメインイベントに2年連続優勝



〔インディアナポリス〕スポーツ・レジャーを謳歌するアメリカでは選手のスーツも派手

〔カリフォルニア州〕トレーラーにトレールバイクを積んだオートキャンピングがさかん



〔カラカス〕モーター・スポーツがさかんなベネゼラでは、ヤマハが80%を占めている



〔ユタ州〕A M A主催のスピード記録会で104.82マイル／時の新記録を出した100YL1



〔カラカス〕ロードレース、モトクロスの両部門でヤマハがベネゼラ選手権を獲得

〔シドニー〕2ストローク車ばかりのモーターサイクルショーで人気を集めるヤマハ

# 世界はヤマハ



[ハワイ州]陽光が  
さんさんと降るワ  
イキキの浜辺はヤ  
マハスポーツと裸  
の天国



[デイリー]マレー  
群島の一角、チモ  
ール島のお祭りに  
くり出したヤマハ  
の宣伝カー

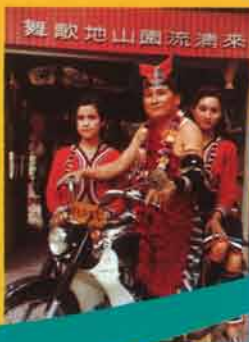
[ニューサウスウ  
ェルズ]放牧場の  
羊の飼育管理に、  
馬に代ってヤマハ  
が使われている



[クイーンズラン  
ド]500cc級とサイ  
ドカースクランプ  
ルのタイトルを獲  
得した250DTI



# 世界はヤマハを求めている



〔鳥来〕台北からおよそ50km 景勝地・鳥来で観光客を楽しませる勝雄酋長の愛車もヤマハ



〔ブノンペン〕新しいヤマハの到着で活気ある店先。カンボジアでもヤマハは大躍進です



〔シンガポール〕そろそろ一台納車だよ。ナンバーの取付けも忙がしいヤマハ車のこの人気



〔ジャカルタ〕若い娘さんの人気のマトはヤマハメイト 頼もしいかぎりのこの調子のよさ。



〔タルタラ〕フィリピンの警察用オートバイも305M2が活躍しています。





〔ロッテルダム〕  
1969年度のオランダ国内選手権でヤマハは数多くのチャンピオンを生む



〔マン島〕市販車レースでは最高のレースといわれるマングスGPでTD2が新記録



〔マルモ〕スエーデンのNo.1 K・アンデルスンは市販車で世界の準チャンピオンに。

〔サイゴン〕へ乗ってる、乗ってるヤマハメイト……はサイゴンの女学生。運転も上手



〔ロンドン〕ヤマハで元気に公園の管理に駆け回る86才のビル・オーズレイさん



〔テヘラン〕イランの映画にもヤマハオートバイが出演、ヤングマンの血をわかせている



〔モザンビーク〕モダンなベイラ中央駅と、近代的国家の建設に役かうヤマハ

〔クアラルンプール〕国道筋のドライブ・インで働くヤマハはかの名車 YG1



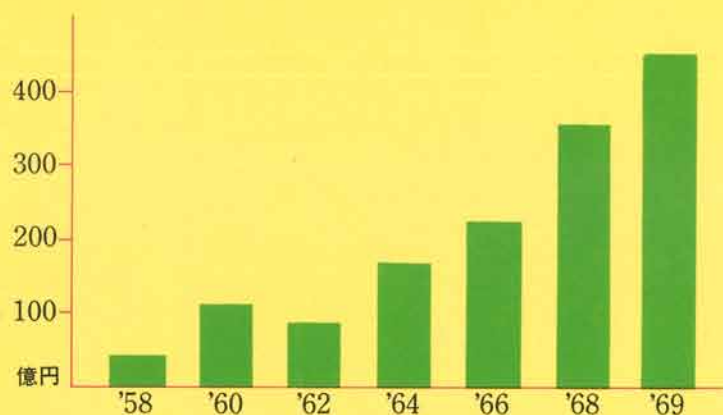
〔ブレトリア〕ランド・イースターショーに日本の二輪車を代表して出品されたヤマハ

〔ヨハネスバーグ〕南アフリカ共和国のゴーカート選手権車もヤマハエンジンを搭載



# 発展するヤマハグループ

ヤマハ発動機の売上高の伸び



オートバイをはじめ、スポーツ・レジャー産業をリードするヤマハ製品をつくるため、ヤマハの工場集団は緊密な連携のもとに、研鑽を積んでいます。

新製品の研究・開発、性能、品質の向上、コストの低減、サービスの徹底…。販売店のみなさまに満足して売っていただける製品を生み出すための、こうした努力の積み重ねが、“信頼されるヤマハ”を形づくってきたのです。

ヤマハグループは、生産に販売に、サービスに、'70の飛躍を期して万全の体制をととのえています。

## ヤマハは魅力ある会社です

### ヤマハ発動機株式会社

#### 本社・支店・工場

本社・本社工場	☎434	浜北市中条1280番地	(05358)7-1111
磐田工場	☎438	磐田市新貝2500番地	(05383)2-7111
新居工場	☎431-03	静岡県浜名郡新居町向島332番地	(05359)4-1211
北海道駐在事務所	☎060	札幌市南5条東1丁目	(0122)51-6141
仙台支店	☎980	仙台市東四番丁54仙台運送ビル	(0222)22-4141
東京支店	☎105	東京都港区東新橋1の21今朝ビル	(03)572-2021
名古屋支店	☎462	名古屋市北区辻本通2丁目34	(052)913-2121
大阪支店	☎550	大阪市西区北堀江通4の27	(06)538-7331
広島店	☎734	広島市東雲町3丁目16番8号	(0822)82-4111
四国支店	☎760	高松市田町11の3亀菱ビル	(0878)31-1661
九州支店	☎812	福岡市比恵新町26	(092)41-3606
株式会社 株昌和製作所	☎410	沼津市松長178番地	(0559)2-5111
北川自動車工業株式会社	☎430	浜松市早出町1012番地	(0534)61-3161
三信工業株式会社	☎430	浜松市新橋町650	(0534)54-3111

YAMAHA MOTOR N.V.,

BACKERSHAGEN 99B, AMSTERDAM-BUITENVEL  
DERT, THE NETHERLANDS.

YAMAHA ASIA 29, SOI-PASANA 1 EKAMAI, SUKUMVIT ROAD  
BANGKOK, THAILAND.

YAMAHA INTERNATIONAL CORPORATION

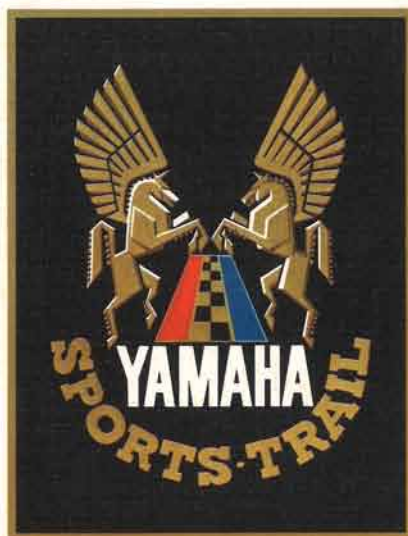
7733 TELEGRAPH ROAD MONTEBELLO CALIFORNIA

YAMAHA DE MEXICO, S.A.

AV. 20 DE NOVIEMBRE No.178 MEXICO 1, D.F.



# スポーツ時代をひらく'70 YAMAHA



ヤマハニュース号外〔1970 躍進ヤマハ〕

■昭和45年1月1日発行 ■発行所 ヤマハ発動機株式会社—静岡県浜北市中条 ■発行人 小池久雄